

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																	
専門学校 岡山情報ビジネス学院	昭和61年7月26日	学院長 榎原 俊章	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336																	
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																	
学校法人三友学園	昭和61年7月26日	理事長 野津 基弘	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336																	
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																
商業実務	商業実務専門課程	医療福祉事務学科	平成13年文部科学省告示 第25号	無																
学科の目的	診療報酬請求事務に必要な専門知識習得のみならず、患者さんとの対応に必要なコミュニケーション能力、心の持ち方などを育成すること。																			
認定年月日	平成26年3月31日																			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験														
2	昼間	1749時間	674時間	629時間	446時間	0時間														
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数															
120人	171人	0人	5人	3人	8人															
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～翌年3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価はA、B、C、Dの4段階科目終了時に試験、レポート等で評価																
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季休業日:8月7日～8月27日 ■冬季休業日:12月24日～翌年2月18日 ■春季休業日:2月26日～3月18日		卒業・進級 条件	次の項目を全て満たすこと ・必修28科目・総時間1749時間を履修すること ・出席率90%以上 ・科目の成績評価が全てC以上 ・医療事務技能審査試験(医科)合格																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話連絡、保護者面談、家庭訪問等		課外活動	■課外活動の種類 スポーツ大会、学園祭、東京研修																
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 病院・診療所・調剤薬局・歯科・福祉施設		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																
	■就職指導内容 担任教師とキャリアサポート室が連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。 ■卒業者数 92人 ■就職希望者数 92人 ■就職者数 91人 ■就職率 : 98.9% ■卒業者に占める就職者の割合 : 98.9% ■その他  (平成28年度卒業生に関する 平成29年5月1日 時点の情報)			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療報酬請求事務能力認定試験</td> <td>③</td> <td>92人</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>医療事務技能審査試験(医科)</td> <td>③</td> <td>92人</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>医療オペレータ技能認定試験</td> <td>③</td> <td>92人</td> <td>92人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するもの記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	診療報酬請求事務能力認定試験	③	92人	42人	医療事務技能審査試験(医科)	③	92人	92人	医療オペレータ技能認定試験	③
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																	
診療報酬請求事務能力認定試験	③	92人	42人																	
医療事務技能審査試験(医科)	③	92人	92人																	
医療オペレータ技能認定試験	③	92人	92人																	
中途退学 の現状	■中途退学者 10名 平成28年4月1日時点において、在学者195名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者185名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 経済的理由、進路変更等 ■中退防止・中退者支援のための取組 定期ガイダンスの実施、クラス行事・学校行事への参加、家庭との連携等		■中退率 5.1%																	
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ・OIO特別奨学金制度(本校入学者を対象に実施) ■後期授業料免除制度(本校入学後、所定の条件を満たす者を対象に実施) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象、非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																			
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																			
当該学科の ホームページ URL	<a href="http://www.oic-ok.ac.jp/course/medical.html">URL:http://www.oic-ok.ac.jp/course/medical.html</a>																			

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

③上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学、主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものと、①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本学科が考える教育に関する基本方針が、今の現場が求めるニーズに合っているかどうかを確認し、その中で、足りていない点において、そこを強化するための助言を編成委員の方よりいただく。また、医療の現場で通用する社会人として今の医療に関する情勢や、患者対応を知り、今後の授業における授業内容の改善、新たな科目の開設などを行い、他の学校との差別化をはかる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

医療事務分野における人材育成のために、病院・診療所・調剤分野関係者および岡山情報ビジネス学院関係者で構成された「教育課程編成委員会」を岡山情報ビジネス学院内に設置する。年間2回以上開催される委員会にて、教育課程の編成に向けた意見・助言等を受けカリキュラムの等の開設・改善・工夫等を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
榊原 俊章	専門学校 岡山情報ビジネス学院 学院長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
高岡 信吾	専門学校 岡山情報ビジネス学院 理事統括部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
難波 芳子	専門学校 岡山情報ビジネス学院 教務第1課 課長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
結城 和子	専門学校 岡山情報ビジネス学院 医療福祉事務学科 学科長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
川口 光彦	医療法人川口内科 川口メディカルクリニック 院長・理事長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
小山 敏章	岡山市薬剤師会会長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
河原 秀明	医療法人創和会 しげい病院 医療推進課 課長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

第1回 平成29年9月7日 16:00～17:30

第2回 平成30年1月25日 16:00～17:30(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

一人の社会人として意見交換の場で自分自身の思いや考えが伝えられるようになってほしいという意見から、前期科目であった「プレゼンテーション技法」を昨年度から通年科目として実施。また、専門用語や疾患理解を深めるために、「解剖生理」の授業において、臓器の機能だけでなく疾患との関係性を取り入れた授業を実施。今後はカルテ読解力に力を入れることを検討している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

将来医療事務分野への就職を目指すために必要な専門知識の習得だけではなく、実習先に本校の教育方針を理解していただき、医療現場で求められる人材育成に即した実習が経験できることを目的としている。基本的には、学生の住んでいる地域において学生の受け入れに当たり医療事務業務を経験ができるよう医療機関を選定している。(状況に応じて各学生の適性・希望等を総合的に判断し決定していく)

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

主に担任教員が実習内容の詳細について医療機関と受入の確認と調整を行う。実習期間中は学科教員が各医療機関を訪問し、学生の状況を確認するとともに、実習担当者や情報交換を行う。実習終了後には、実習担当者による学生の学修成果の評価と、実習口誌などをふまえ、担任教員が成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
病院実習	医療・福祉を中心に医療機関や高齢者福祉施設において、即戦力として活躍できる人材を育成することを目的に学習し、約1年間の授業を通して学んできたことを、実際の現場で実習することにより、理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術を身につけることを目的としている。実習内容は、基本的には医療機関の指示に従い、事務職員の方々の指導の下、実習を行う。	岡山大学病院 医療法人創和会しげい病院 一般財団法人倉敷成人病センター 地域医療支援病院赤磐医師会病院 医療法人川口内科 川口メディカルクリニック 全85医療機関

<p>3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係</p> <p>(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針</p> <p>教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と他関係者に対する研修内容の共有を行う。</p> <p>(2)研修等の実績</p> <p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>【第26回診療報酬請求事務研修会】 主催:公益財団法人日本医療保険事務協会 日程:平成28年10月13日(木)~14日(金) 参加者:浅野 文章 本校において学生の目標検定としている診療報酬請求事務能力認定試験の主催団体であり、今回の研修は診療点数改正と病院経営についてのテーマであった。点数改定平成28年4月の改正は、2025年(平成37年)問題に向けて地域包括ケアシステムと効果的・効率的で質の高い医療提供体制の構築を図るものである。現在は高齢化だけではなく若い世代が減少していくことも問題とされている。若い世代の人口が減るといことは、患者も必然的に減少するため病床数を減らし、病床の代わりに介護施設に変換していく病院が増える見通しもある。医療事務に必要なことは接遇に限らず、病院経営の主軸となる責任を持つことが大切であると学ぶことが出来た。</p> <p>【救急法基礎講座】 主催:日本赤十字社岡山県支部 日程:平成29年8月21日(月) 参加者:結城 和子 本校は2004年に日本赤十字社金色有功章会に加盟している。毎年12月に行われる学園祭では献血推進活動も行っており、日本赤十字社に協力いただきながら献血の重要性を学んでいる。今回は学生の緊急時に備え、教員が一次救命処置を学ぶことを目的とした研修であった。急な体調急変や事故等により学生が意識を失った時、救急車が到着するまでの一次救命によって蘇生率が上がるため、救命処置の大切さを学ぶことが出来た。具体的には実技を通して、人工呼吸法、心臓マッサージ、AEDの使用方法を学んだ。</p> <p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>【就職指導研修】 主催:株式会社STC 日程:平成29年2月15日(水) 9:30~15:30 参加者:岡本 昌子 株式会社STCは企業の目的や課題、問題点にあわせて、意識、能力、行動の変革と組織のパフォーマンス向上を目的とした研修を行っている会社で、本校の就職指導研修を長年にわたり実施していただいている。主な研修内容としては、ビジネスマナー研修、クレーム対応研修、コミュニケーション研修、新入社員研修等が挙げられ、本校の研修も学生のビジネスマナー、就職活動指導の向上につながっている。</p> <p>【NEW EDUCATION EXPO 2017 in 岡山】 主催:New Education Expo 実行委員会 日程:平成29年10月6日(金) 参加者:竹竝 智子 岡山県教育委員会と岡山市教育委員会が後援として行われ、未来の教育に関する課題解決の場として本校も教育向上のため受講している。教育における3つのポリシー、学力の3要素に基づく教育システムの紹介が行われ、シラバスだけでなくカリキュラムマップを活用し、授業形態や授業方法、評価方法、学習目標値を可視化して分析を行っている事例についての勉強会であった。本校でもアクティブラーニングの研修を過去に実施しているが、現状としてグループ学習が主になっている部分も見受けられる。今まで以上に能動型授業とグループ学習との認識の違いを持ち、現状の授業展開についても「考えさせる」能動的学習の運営をする重要性を感じる事ができた。</p>
<p>①専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>【医療秘書学会】 主催:一般財団法人 日本医療秘書学会 日程:平成30年2月18日(日) 参加者:結城 和子 本校は医療秘書学会の会員であり、毎年研修に参加することで医療機関における医療秘書の重要性について学んでいる。医療秘書学会では毎年この時期に学術大会が行われており、今年度は「医療・介護大改革の年度に向かって」というテーマで、参加学生の発表が行われる。他校の学習レベルとプレゼン能力を知ることができ、学内のカリキュラムの見直しや学生指導に関するスパイスとなっている。</p> <p>②指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>【アドラー心理学に基づく学生指導とクラス運営】 主催:一般社団法人 全国専門学校教育研究会 日程:平成30年2月22日(木)~2月23日(金) 参加者:浅野 文章 一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修は、アドラー心理学に基づく学生の指導、およびクラス運営のやり方について、教師の指導力のレベルアップを目的とする。</p> <p>【競争優位を生み出す これからの就職指導の在り方】 主催:一般社団法人 全国専門学校教育研究会 日程:平成30年2月21日(水)~2月22日(木) 参加者:岡本 昌子 竹竝 智子 一般社団法人 全国専門学校教育研究会は、全国の専門学校が教育の成功事例や取り組みなどを共有し、より専門性の高い教育を目的とした一般社団法人で、研修会を通して情報交換や教員のレベルアップを図っている。本校もこの研究会に加盟しており、他校との情報交換や教師のレベルアップを図っている。今回の研修は、学生の就職活動を多方面からサポートするために必要な就職指導の在り方を修得し、教師の就職支援・就職指導力のレベルアップを目的とする。</p>
<p>4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係</p>

(1)学校関係者評価の基本方針  
自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の順守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	現在はありません

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況  
担任制、卒業生の社内での評価などは、良い評価をいただいたので、今後も退学防止などの課題に取り組んでいく。特に、教師の力量による差が、退学・就職などすべてに影響するため、その差を解消できるように教員研修を継続する。また、非常勤教師の採用も行い、学生サービスの充実を図る。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成〇年〇月〇日現在

名前	所属	任期	種別
宮崎 栄一	株式会社 創明コンサルティング・ブレイン 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
仲田 錠二	株式会社 ユナイテッドサーブ 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	卒業生・企業等委員
松本 武司	有限会社シルク 代表取締役(保護者)	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	PTA
河原 秀明	医療法人創和会 しげい病院 医療推進課・課長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
近藤 正晃	株式会社 ホテルグランヴィア岡山 総務部人事課課長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
岡崎 多美子	学校法人 朝日学園 朝日塾幼稚園園長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
磯谷 賢二	リコージャパン株式会社 中国事業本部岡山支社 アシスタントマネージャー(卒業生)	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	卒業生・企業等委員
片山 雅文	株式会社 コーセイカン 制作チーム 部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
石橋 史恵	ウェブクリエイティブ株式会社 代表取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
高松 聖	株式会社 スカイリンク 岡山制作部 部長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
岡本 隆嗣	岡山県商工会議所連合会 おかやま若者就職支援センター 所長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) ( )  
URL:<http://www.oic-ok.ac.jp/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針  
本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対応を行い、説明責任を果たす。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校紹介
(2)各学科等の教育	各学科等の教育内容
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介
(6)学生の生活支援	学生支援
(7)学生納付金・修学支援	学納金
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法  
URL:<http://www.oic-ok.ac.jp/>

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程医療福祉事務学科) 平成29年度 1年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			医療事務制度	医療保険に関する制度、公費の理解	1前	52		○			○		○		
○			解剖・生理	人体の構成、構造・生理および疾患例	1前	26		○			○		○		
○			検査	病院における検査について	1前	13		○			○		○		
○			コミュニケーション技法	医療機関における窓口対応の仕方、患者様対応等	1通	52		△	○		○			○	
○			医療秘書概論	医療事務作業補助業務について	1通	78		○	△		○		○		
○			ビジネス実務 I	実社会で求められるビジネスマナーについて	1通	60		○	△		○		○		
○			保険請求事務 (医科)	保険請求業務 (医療保険) におけるレセプト点数算定	1通	384		△	○		○		○		
○			エクセル実習	excel表計算処理技能認定試験3級を目指す知識・技能の習得、また、卒業研究などワープロを使用した作品作りに応用させる。	1通	52		△		○	○		○		
○			ペン字	履歴書やビジネス文書等の文字を美しく書く演習	1後	13		△	○		○			○	
合計				科目	単位時間(時間)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程医療福祉事務学科) 平成29年度 1年生														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		デンタルアテンダントⅠ	保険請求事務(歯科)(医療保険)におけるレセプト点数算定及び歯科助手業務について	1後	26	△		○	○		○		
	○		フォーラムメイクⅠ	社会人としてのマナーやエチケットの向上とメイク術	1後	26	△		○	○			○	
○			レセプト実習Ⅰ	保険請求事務(医科)の算定及びコンピュータ入力	1後	26	△		○	○		○		
○			ワード実習Ⅰ	オブジェクトや罫線など基本的な実技を習得し、ビジネス文書の作成をする。	1後	26	△		○	○		○		
○			薬理	薬学一般、薬品に関する法律、薬の名称等	1後	26	○			○		○		
合計				科目	単位時間(時間)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程医療福祉事務学科) 平成29年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			保険請求事務(介護)	保険請求業務(介護保険)におけるレセプト点数算定	2前	81		○	△		○		○		
○			保険請求事務(調剤)	保険請求業務(調剤)(医療保険)におけるレセプト点数算定	2前	28		△	○		○		○		
○			親学	親としてすべきことを学び、さらに人としての成長を目指し、人間力を高めるライフデザインを学ぶ。	2前	28		○	△		○			○	
	○		デンタルアテンダントⅡ	保険請求事務(歯科)(医療保険)におけるレセプト点数算定及び歯科助手業務について	2前	42		△		○	○		○		
	○		フォーラムメイクⅡ	社会人としてのマナーやエチケットの向上とメイク術	2前	42		△		○	○			○	
○			レセプト実習Ⅱ	レセプトコンピュータの基本的な入力内容や入力方法を身につけ検定取得を目指す。	2前	81		△		○	○		○		
○			接遇実習	冠婚葬祭について、お茶の出し方、入れ方、テーブルマナーについて(近隣ホテルで実施)	2通	40		○		△	○	○	○		
○			病院実習	実際の現場で実習することにより理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術力を身につける。	2前	105					○		○		○
○			ビジネス実務Ⅱ	実社会で求められるビジネスマナーについて	2前	85		○	△	△	○		○		
合計					科目		単位時間(時間)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程医療福祉事務学科) 平成29年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			医療福祉演習	自治体公費・自立支援法・医療保険制度の知識を深め、レセプト算定の振り返りや福祉についても学び、手話・点字、車いす、視覚障害者、高齢者疑似体験等も学ぶ	2通	80		○	△	△	○	○	○		
○			ワード実習Ⅱ	word文書処理技能認定試験3級を目指す知識・技能の習得、また、卒業研究などワープロを使用した作品作りに応用させる。	2通	62		△		○	○		○		
○			プレゼンテーション技法	卒業研究、実社会において必要なプレゼンテーション技法および必要なパワーポイント技法も学ぶ。	2通	68		△		○	○		○		
○			レクリエーション学	レクリエーションを福祉の分野に立って考え実践する。高齢者、障害者、幼児等それぞれの立場に合わせた福祉の考え方を学習する。	2後	35		○		△	○		○		
○			卒業研究	医療・福祉に関連した内容を個人で深く研究・追究し、知識を深め、研究レポートの作成とプレゼンテーションを行う。また、個人の研究が終了したら、グループで研究を深め、プレゼンテーションを行う。	2後	180		△	○		○	○	○		
合計					28科目		1749単位時間( 時間)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

- (留意事項)
- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
  - 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。